

聖書に登場する「イエスの死と復活、そして再臨」(再臨についてのイエスの予告[P.1]を含む)

◆人の子が来る マタイによる福音書 24 : 29～31

「その苦難の日々の後、たちまち／太陽は暗くなり、／月は光を放たず、／星は空から落ち、／天体は揺り動かされる。30 そのとき、人の子の徴が天に現れる。そして、そのとき、地上のすべての民族は悲しみ、人の子が大いなる力と栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見る。31 人の子は、大きなラッパの音を合図にその天使たちを遣わす。天使たちは、天の果てから果てまで、彼によって選ばれた人たちを四方から呼び集める。」

◆人の子が来る マルコによる福音書 13 : 24～27

「それらの日には、このような苦難の後、／太陽は暗くなり、／月は光を放たず、25 星は空から落ち、／天体は揺り動かされる。26 そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見ると。27 そのとき、人の子は天使たちを遣わし、地の果てから天の果てまで、彼によって選ばれた人たちを四方から呼び集める。」

◆人の子が来る ルカによる福音書 21 : 25～28

「それから、太陽と月と星に徴が現れる。地上では海がどよめき荒れ狂うので、諸国の民は、なすすべを知らず、不安に陥る。26 人々は、この世界に何が起こるのかとおびえ、恐ろしさのあまり気を失うだろう。天体が揺り動かされるからである。27 そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見ると。28 このようなことが起こり始めたら、身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの解放の 때가近いからだ。」

◆最高法院で裁判を受ける マタイによる福音書 26 : 57～68

人々はイエスを捕らえると、大祭司カイアファのところへ連れて行った。そこには、律法学者たちや長老たちが集まっていた。58 ペトロは遠く離れてイエスに従い、大祭司の屋敷の中庭まで行き、事の成り行きを見ようと、中に入って、下役たちと一緒に座っていた。59 さて、祭司長たちと最高法院の全員は、死刑にしようとしてイエスにとって不利な偽証を求めた。60 偽証人は何人も現れたが、証拠は得られなかった。最後に二人の者が来て、61 「この男は、『神の神殿を打ち倒し、三日あれば建てることできる』と言いました」と告げた。62 そこで、大祭司は立ち上がり、イエスに言った。「何も答えないのか、この者たちがお前に不利な証言をしているが、どうなのか。」63 イエスは黙り続けておられた。大祭司は言った。「生ける神に誓って我々に答えよ。お前は神の子、メシア（→メシアはヘブライ語[マシアハ]で選ばれた者、油注がれた者）なのか。」64 イエスは言われた。「それは、あなたが言ったことです（→口語訳：あなたの言うとおりで／聖書協会共同訳：それはあなたの言ったことだ／リビング・バイブル：あなたの言ったとおりで）。しかし、わたしは言うておく。あなたたちはやがて、／人の子が全能の神の右 the right hand of power に座り^{※1}、／天の雲に乗って来るのを見る。」65 そこで、大祭司は服を引き裂きながら（→律法では、大祭司は悲しみを表すのに衣服を裂くことは禁止されていた＝レビ 10 : 6、21 : 10）言った。「神を冒瀆した。これでもまだ証人が必要だろうか。諸君は今、冒瀆の言葉を聞いた。66 どう思うか。」人々は、「死刑にすべきだ」と答えた。67 そして、イエスの顔に唾を吐きかけ、こぶしで殴り、ある者は平手で打ちながら、68 「メシア、お前を殴ったのはだれか。言い当ててみる」と言った。

※1：イエス・キリストが神の全権を委任され、すべてを統治（支配）される。→(例)左大臣(日本)

◆最高法院で裁判を受ける マルコによる福音書 14 : 62

イエスは言われた。「そうです。あなたたちは、人の子が全能の神の右 the right hand of power に座り、／天の雲に囲まれて来るのを見る。」

◆最高法院で裁判を受ける ルカによる福音書 22 : 69

しかし、今から後、人の子は全能の神の右に座る。」

【参考】キリストが天の聖所から至聖所に移られた[カライ暦:1844年10月22日]⇒**調査審判**の開始

ダニエル書 7 : 13～14＝夜の幻をなお見ていると、／見よ、「人の子」のような者が天の雲に乗り／「日の老いたる者」の前に来て、そのもとに進み／權威、威光、王権を受けた。

諸国、諸族、諸言語の民は皆、彼に仕え／彼の支配はとこしえに続き／その統治は滅びることがない。

◆イエスの死（マタイによる福音書 27：45、46、50～53）

さて、昼の十二時に、全地は暗くなり、それが三時まで続いた（→Now from the sixth hour there was darkness over all the land unto the ninth hour）。46 三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「**エリ、エリ、レマ、サバクタニ。**」（→詩編 22：2）これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。・・・50 しかし、イエスは再び大声で叫び、息を引き取られた（→ルカ 23：46＝イエスは大声で叫ばれた。「**父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。**」こう言って息を引き取られた）。51 そのとき、神殿の（聖所と至聖所を区切る）垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂け、地震が起こり、岩が裂け、52 墓が開いて、眠りについていた多くの聖なる者たちの体が生き返った。53 そして、イエスの復活の後、墓から出て来て、聖なる都に入り、多くの人々に現れた。

→ヨハネによる福音書 19：28～31 この後、イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、「**渴く**」（→詩編 22：16）と言われた。こうして、聖書の言葉が実現した。29 そこには、（十字架刑の苦しみを和らげ、死を早めるための）酸いぶどう酒（→マタイ 27：34）を満たした器が置いてあった。人々は、このぶどう酒をいっぱい含ませた海綿をヒソブに付け、イエスの口もとに差し出した。30 イエスは、このぶどう酒を受けると、「**成し遂げられた It is finished**」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。

◆主は来られる テサロニケの信徒への手紙一 4：14～18

14 イエスが死んで復活されたと、わたしたちは信じています。神は同じように、イエスを信じて眠りについた人たちをも、イエスと一緒に導き出してください。15 主の言葉に基づいて次のことを伝えまします。主が来られる日（→パルシア：ギリシア語）まで生き残るわたしたちが、眠りについた人たちより先になることは、決してありません。16 すなわち、合図の号令がかかり、大天使（→ミカエル）の聲が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主御自身が天から降って来られます。すると、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し、17 それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることになります。18 ですから、今述べた言葉によって励まし合いなさい。

◆主の来臨の約束 等

◎ペトロの手紙二 3：10 主の日は盗人のようにやって来ます。その日、天は激しい音をたてながら消えうせ、自然界の諸要素は熱に熔け尽くし、地とそこで造り出されたものは暴かれてしまいます。

◎ヨハネの黙示録 1：7 見よ、その方が雲に乗って来られる。すべての人の目が彼を仰ぎ見る、／ことに、彼を突き刺した者どもは。地上の諸民族は皆、彼のために嘆き悲しむ。然り、アーメン。

◎ヨハネの黙示録 6：16～17 山と岩に向かって、「わたしたちの上に覆いかぶさって、玉座に座っておられる方の顔と小羊の怒りから、わたしたちをかかまってくれ」と言った。17 神と小羊の怒りの大なる日が来たからである。だれがそれ（→再臨）に耐えられるであろうか。

◎鎌が地に投げ入れられる（裁きの執行）ヨハネの黙示録 14：14～20

また、わたしが見ていると、見よ、白い雲が現れて、人の子のような方がその雲の上に座っており、頭には金の冠をかぶり、手には鋭い鎌を持っておられた。15 すると、別の天使が神殿から出て来て、雲の上に座っておられる方に向かって大声で叫んだ。「鎌を入れて、刈り取ってください。刈り入れの時が来ました。地上の穀物は実っています。」16 そこで、雲の上に座っておられる方が、地に鎌を投げると、地上では（キリスト者の）刈り入れが行われた。17 また、別の天使が天にある神殿から出て来たが、この天使も手に鋭い鎌を持っていた。18 すると、祭壇のところから、火をつかさどる権威を持つ別の天使が出て来て、鋭い鎌を持つ天使に大声でこう言った。「その鋭い鎌を入れて、地上のぶどうの房を取り入れよ。ぶどうの実には既に熟している。」19 そこで、その天使は、地に鎌を投げ入れて地上のぶどうを取り入れ、これを神の怒りの大きな搾り桶に投げ入れた。20 搾り桶は、都の外で踏まれた（→神の救いの及ばない領域で神の敵対者たちが滅ぼされた）。すると、血が搾り桶から流れ出て、馬のくつわ（→馬の胸ほどの高さ）に届くほどになり、千六百スタディオン（≒300 km→全世界）にわたって広がった。

◆白馬の騎手 ヨハネの黙示録 19：11～16

そして、わたしは天が開かれているのを見た。すると、見よ、（勝利の象徴である）白い馬が現れた。それに乗っている方は、「誠実」および「真実」と呼ばれて、正義をもって裁き、また戦われる。12 その目は燃え盛る炎のようで、頭には多くの王冠があった。この方には、自分のほかはだれも知らない名が記されていた。13 また、血に染まった衣を身にまとい、その名は「神の言葉」と呼ばれた。

14 そして、天の軍勢が白い馬に乗り、白く清い麻の布をまとってこの方に従っていた。15 この方の口からは、鋭い剣が出ている。諸国の民をそれで打ち倒すのである。また、自ら鉄の杖で彼らを治める。この方はぶどう酒の搾り桶を踏むが、これには全能者である神の激しい怒りが込められている。16 この方の衣と腿のあたりには、「王の王、主の主」という名が記されていた。

◆**キリストの復活** コリントの信徒への手紙一 15 : 3~8

最も大切なこととしてわたしがあなたがたに伝えたのは、わたしも受けたものです。すなわち、キリストが、聖書に書いてあるとおりに①わたしたちの罪のために死んだこと、②葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに③三日目に復活したこと、④ケファ(=ペトロ)に現れ、⑤その後十二人(の弟子たち)に現れたことです。⑥次いで、⑥五百人以上も兄弟たちに同時に現れました。そのうちの何人かは既に眠りについたにしろ、大部分は今なお生き残っています。⑦次いで、⑦(イエスの弟)ヤコブに現れ、その後⑧すべての使徒に現れ、⑧そして最後に、月足らずで生まれたような⑨わたしにも現れました。

◆**死者の復活** コリントの信徒への手紙一 15 : 20~26

しかし、実際、キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となられました。21 死が一人の人によって来たのだから、死者の復活も一人の人によって来るのです。22 つまり、アダムによってすべての人が死ぬことになったように、キリストによってすべての人が生かされることになるのです。23 ただ、一人一人にそれぞれ順序があります。最初にキリスト、次いで、キリストが来られるときに、キリストに属している人たち、24 次いで、世の終わりが来ます。そのとき、キリストはすべての支配、すべての權威や勢力を滅ぼし、父である神に国を引き渡されます。25 キリストはすべての敵を御自分の足の下に置くまで、国を支配されることになっているからです。26 最後の敵として、死が滅ぼされます。

◆**復活の身体** コリントの信徒への手紙一 15 : 51~53

わたしはあなたがたに神秘を告げます。わたしたちは皆、眠りにつくわけではありません。わたしたちは皆、今とは異なる状態に変えられます。52 最後のラッパが鳴るとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は復活して朽ちない者とされ、わたしたちは変えられます。53 この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを必ず着ることになります。

【参考】 キリストの十字架の死(第二の死)

イザヤ書 53:8 捕らえられ、裁きを受けて、彼は命を取られた。彼の時代の誰が思い巡らしたであろうか／わたしの民の背きのゆえに、彼が神の手にかかり／命ある者の地から断たれたことを。

[KING JAMES BIBLE 欽定訳] He was taken from prison and from judgment: and who shall declare his generation? for he was **cut off** out of the land of the living: for the transgression of my people was he stricken.

→切り取る、切り離す(ダニエル書 9:24) → お前の民(ユダヤ人)と聖なる都(エルサレム)に対して七十週が**定められている**。
Seventy weeks are **determined** (= [חַתּוּךְ] khaw-thak' = cut, cut off) upon thy people and upon thy holy city.

真っ二つに切り裂いてしまった動物※1は再び一つに戻すことができないように、御子イエスは、私たちの罪の贖いの犠牲 a sacrifice of atonement ために、十字架刑に架けられ、死んで、父なる神と断たれた(切り離された)。⇒罪の報酬である永遠の死= **第二の死(十字架)** → 黙示録 2:11、20:6、14、21:8

↳ 父なる神からの分離 / 神との永遠の分離・隔絶

→ **第二の死(十字架)** → **葬り(埋葬)** → **安息** → **復活** → **顕現** → **昇天** → **右の座**

→ローマの信徒への手紙 6:23a 罪が支払う報酬は死です。

※1: 創世記 15:10a アブラムはそれらのものをみな持って来て、真っ二つに切り裂き divided them in the midst、それぞれを互いに向かい合わせて置いた。

エレミヤ書 34:18 わたしの契約を破り、わたしの前で自ら結んだ契約の言葉を履行しない者を、彼らが契約に際して真っ二つに切り裂き cut the calf in twain、その間を通ったあの子牛のようにする。

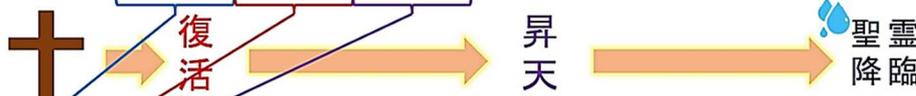
【参考】 イエスの十字架と復活 等

イエスの十字架と逾越祭、除酵祭等

異邦人時間	13(木)	14(金)	15(土)	16(日)
日没	←←1日→→	←←1日→→	←←1日→→	←←1日→→
10	ニサンの13(木)	14(金)	15(土) 安息日	16(日)
悔のない雄の小羊又は山羊	準備の日→ 逾越祭	1日目	2日目	
最後へのヨハネの晩餐	イイエス	イイエス	イイエス	イイエス
逮捕: 1日3時	逮捕: 1日3時	逮捕: 1日3時	逮捕: 1日3時	逮捕: 1日3時
裁判: 9時	裁判: 9時	裁判: 9時	裁判: 9時	裁判: 9時
十字架の死	十字架の死	十字架の死	十字架の死	十字架の死
埋葬	埋葬	埋葬	埋葬	埋葬
ユダヤ(バビロニア)暦	ユダヤ(バビロニア)暦	ユダヤ(バビロニア)暦	ユダヤ(バビロニア)暦	ユダヤ(バビロニア)暦
日没基準	日没基準	日没基準	日没基準	日没基準
特別の安息日	特別の安息日	特別の安息日	特別の安息日	特別の安息日
(ヨハネ19:31)	(ヨハネ19:31)	(ヨハネ19:31)	(ヨハネ19:31)	(ヨハネ19:31)
イイエスの復活・顕現	イイエスの復活・顕現	イイエスの復活・顕現	イイエスの復活・顕現	イイエスの復活・顕現



使徒言行録2:1~39



1	2	3日目	2日目	3日目	...	39日目	40日目	41日目	42日目	...	49日目	50日目
金	土	日	月	火	...	水	木	金	土	...	土	日
三日目に復活(マタイ16:21他)			復活から四十日にわたって(使徒1:3)					復活から50日後に集まって祈っていた弟子たちの上に、聖霊が降った(使徒2:1~4) → 聖霊降臨日(春の収穫感謝祭の「五旬祭(ペンテコステ)」の日)				

©H.Taniguchi

【参考】 ユダヤ人の時刻の捉え方

ユダヤ人の時刻: 午前六時を起点「0時」とする。

表記等	0	1	2	3	...	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	...	23	
A / P M	AM						PM						PM~AM			AM		
標準時	六時	七時	八時	九時	...	屋の十二時	一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	...	午前五	
ユダヤ	0時	1時	2時	3時	...	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	1時	2時	3時	...	11時	
K J B 表	the third hour			the sixth hour			the seventh hour			the ninth hour			the eleventh hour			the third hour of the night		

※標準時の午前九時、屋の十二時、午後一時、三時、四時、五時、九時以外は、聖書に登場しない。

KJB=KING JAMES BIBLE 欽定訳

©H.Taniguchi